

〔国際会議発表〕

発表研究者	千葉工業大学 准教授 金田 晃一	2172105
参加会議	The 12th Biennial conference on the Engineering of Sport (ISEA2018)	
出張期間	2018年3月25日～3月30日	
開催場所	Brisbane・Australia	
発表論文	CLASSIFYING LAND AND WATER-BASED DAILY LIVING ACTIVITIES USING INERTIAL SENSOR 慣性センサを用いた陸上および水中環境での日常生活動作の分類	

概 要 :

2018年3月26日～2018年3月29日に、AustraliaのBrisbaneで開催されたThe 12th Biennial conference on the Engineering of Sport (ISEA2018)に参加し、CLASSIFYING LAND AND WATER-BASED DAILY LIVING ACTIVITIES USING INERTIAL SENSOR (慣性センサを用いた陸上および水中環境での日常生活動作の分類)という演題で口頭発表を行なった。この学会大会は2年に一度開催されるスポーツ工学に関する国際会議で、自身の研究テーマの中で、慣性センサデバイスを用いた陸上および水中運動中の運動者の加速度および角速度データを計測し、そのデータを元に、情報処理手法および機械学習手法の一つであるニューラルネットワークおよび決定木学習を用いて運動分類を行なった結果についての発表を行なった。発表の際には、参加者からデータの妥当性についての検証方法や、センサデバイスの電力消費量を勘案した今後の研究方向への示唆について意見をを得ることができた。さらに、今後自身が進めていきたい研究・開発の方向性についても参加者の理解を得ることができた。本学会ではスポーツ、工学、情報科学、統計学、デザイン科学といった分野の研究者、開発者、ビジネスパーソンが集結し、人と機械・器具・情報科学技術との融合を目指して発表およびディスカッションが行われるため、自身の研究発表による成果だけでなく、自身の研究分野の周辺領域として幅広い知識および本分野における最新の知見を得ることができた。